

「聞こえのフレイル」をご存知ですか？

- ▶フレイルとは、「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。
 - ▶「聞こえのフレイル」とは、耳の虚弱(聞き取る機能の衰え)をいいます。



聴力が低下すると…

厚生労働省HP 『「聞こえにくさ」を感じていませんか?』より引用

- 家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかなくなる
 - 危険を察知する能力が低下する
 - 認知機能の低下につながる可能性がある
 - 自信がなくなる
 - 社会的に孤立し、うつ状態に陥ることもある



聞こえのチェック



日常生活でこんなことは
ありませんか？



- 話し声がはっきりと聞き取れず、聞き間違えたり、聞き返したりすることがある。
 - 相手の言ったことを推測で判断することがある。
 - 話し声が大きいと言われる。
 - 家族からテレビやラジオの音量が大きいと指摘される。
 - 集会や会議など数人での会話がうまく聞き取れない。
 - 後ろから呼びかけられると気づかないことがある。
 - 車の接近に全く気がつかないことがある。
 - 電子レンジの音やドアのチャイムの音が聞こえにくい。
 - 時計のアラームなど、高い音が聞き取りにくいと感じる。
 - 音の方向感がわかりにくくなる。
 - 耳が詰まったような感覚が抜けない。
 - 「ワーン」「キーン」などの音が耳で鳴っている状態が1日
 - 音が割れたようにカシャカシャ聞こえる。

厚生労働省HP
『「聞こえにくさ」を感じていませんか?』
より引用



～チェック項目に当てはまる方や、「聞こえにくさ」を感じている方へ～

「聞こえにくさ」は、耳あかや中耳炎等が原因となっていることもあります。治療で聞こえがよくなることもあるため、耳鼻咽喉科で診察を受けることをおすすめします。

「難聴」を予防するために

① 耳にやさしい生活を心がける

- ・大音量でテレビを見たり、音楽を聴いたりしない。
- ・騒音など、大きな音が常時出ている場所を避ける。
- ・静かな場所で耳を休ませる時間を作る。

② 老化を遅らせるために生活習慣を見直す

- ・バランスの取れた食事や、適切な運動
- ・規則正しい睡眠
- ・禁煙

③ 早期発見・早期治療

- ・気になる症状がある場合は、耳鼻科を受診し、聞こえの検査を受ける。
- ・早期に補聴器で聞こえのサポートを受ける。

参考：厚生労働省note 『「聞こえにくさ」を感じていませんか？』

注目！補聴器の購入を補助します「難聴高齢者補聴器購入補助事業」

詳細は、東海市ウェブサイトでご確認いただけます。→



対象者 次のすべてに該当する方

- 申請時に65歳以上で東海市在住の方
- 両耳の聴力レベルが30デシベル以上で、身体障害者手帳(聴覚障害)の交付の対象とならない方
- 指定医療機関において、要綱に規定された医師に補聴器の装用が必要であると判断された方
- 過去にこの事業で補助を受けたことがない方

補助額 補聴器購入費の1/2

ただし、補助金の限度額は、

◆住民税非課税世帯の方： 50,000円

◆住民税課税世帯の方： 25,000円

購入前に事前の申請
が必要です！！

【申請先・問合せ先】

東海市 市民福祉部 高齢者支援課(しあわせ村内) 電 話:052-689-1600